

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報(11月13日～11月19日掲載分)
- 2 現場レポート
 - ・「日豊本線で脱線」想定 総合復旧訓練～消防や警察と連携強化～
 - ・「海の子育成プロジェクト」(来て・見て・学ぼう海事産業!)～次世代人材育成の『海事教室』を開催しました～
- 3 お知らせ
- 4 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 (11月13日～11月19日掲載分)

----- 報道発表 -----

環境にやさしい公共交通を利用するきっかけに～柳川市で『交通エコロジー教室』を開催します～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1113-kankyo.pdf>

受賞車両が決定しました!～九州初 自動車アセスメント「JNCAPファイブスター賞」の表彰式及び試験車両の展示を開催します～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1118-gijutsu.pdf>

長崎県壱岐市に九州で21番目の海の駅が誕生!～「いき 湯がっぱ海の駅」の認定証授与式が行われます～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1119-senpaku.pdf>

平成26年度上半期長距離フェリー航路輸送実績について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1119-ryokaku.pdf>

----- お知らせ -----

国有財産(土地)の売払いについて

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-1119-kaikei.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

物品・役務入札公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《九州のうんゆ》

「九州のうんゆ」2014年11月20日公表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/26.11.pdf>

2 現場レポート

「日豊本線で脱線」想定 総合復旧訓練 ～ 消防や警察と連携強化 ～

平成26年11月7日(金)、大分市の九州旅客鉄道株式会社(以下、JR九州という。)大分車両センター構内において、総合脱線復旧訓練(以下「訓練」という。)が行われました。

この訓練は、JR九州大分支社(以下「大分支社」という。))が、事故等が発生した際の警察や消防など関係機関との連携強化、迅速で正確な情報伝達、早期復旧作業など総合的な技術力の向上などを目的に、毎年実施しているものです。

訓練には、大分支社、JR九州グループ会社、大分県警察本部鉄道警察隊、大分市中央消防署などから、約200名が参加しました。

今年の訓練は、「踏切で脱線している軽自動車を発見、直ちに急ブレーキを掛けたが間に合わず衝突して停車。列車の前1軸が脱線、軽自動車は損傷が激しく運転手の意識は無い状態。車内の乗客及び軽自動車の運転手を合わせ負傷者は15名、他3名の乗客が違和感を訴えている。」という想定で行われました。

主な訓練概要は、次のとおりです。

復旧現場本部運用及び関係機関対応訓練

列車運転士からの「日豊本線 西大分駅～大分駅間の中島踏切で脱線している軽自動車を発見、直ちに緊急ブレーキを掛けたが間に合わず衝突して停車した」と運行を管理する部署に緊急連絡が入り訓練は始まりました。

サイレンが鳴り響くなか、運転士・車掌が車外へ出て、車両前後に発煙筒を焚き、列車が脱線していることを確認、衝突した軽自動車の運転手にも声を掛け意識が無いことを確認し、運行を管理する部署へ負傷者等の状況を報告後、当該部署より関係各所(警察・消防等)へ連絡及び応援依頼を行った。

駆けつけた消防隊及び救急隊により軽自動車に閉じ込められていた運転手1名(人形)を無事救助、応援に駆けつけた社員1人1人が列車内の乗客を*トリアージタッグの色に応じて安全に救護所へ誘導していました。

脱線に伴う各系統調査及び復旧対応訓練

事故現場に復旧現場対策本部を設置して、大分支社対策本部の指示に従い、復旧現場対策本部にて復旧作業を行う訓練が行われました。車両班(車両の復旧担当)、施設班(線路の復旧担当)、電力班(架線の復旧担当)、信通班(電話・無線担当)の職員が、張り詰めた空気のなかで迅速に作業を進めました。

中でも、油圧ジャッキを使用して脱線した列車を持ち上げ、車輪の位置をレールの上にスライドさせて線路上に戻す訓練や、バラスト(線路に敷かれた石)により足場の悪い中での梯子を使用しての架線復旧作業等、少しの気の緩みから大げかに繋がりがねない状況での訓練はとても緊張感のあるものでした。

このような訓練は、総合的な技術力の向上と若手後継者への技術継承を目的とした大切な訓練と位置づけられており、先輩社員からの温かくも厳しい指導等が印象的でした。

初期消火訓練

大分中央署消防署により、駅員、運転士、車掌及び客室乗務員による消火器の取扱

い訓練が行われました。日頃、消火器を使用する事がないため、参加者は真剣なまなざしで、消防署職員の指導を受けていました。

参加者は、約3時間という長丁場にもかかわらず、キビキビと行動しており、安全確認も大声で行うなど、緊張感を持って訓練に参加していました。

鉄道は大量輸送機関であるため、ひとたび事故が発生するとたくさんの利用者の命が危険にさらされます。また、事故により運転障害が発生すると利用者にも多大な影響を与えることになります。

鉄道の安全は、鉄道に携わる全ての人々の安全意識の向上が不可欠です。今回の訓練は、私ども九州運輸局職員を含め、参加者全員の安全意識の向上を図るうえで大変有意義な訓練であったと感じました。

最後に、これから年末年始の大変混雑する時期を迎えることになります。関係者の皆様には、テロ対策も含めて安全対策に一層の取り組みをお願いいたします。

...キーワード...

「トリアージタグ」

トリアージとは、災害時などに多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重傷度に応じて適切な処置や搬送を行うため、傷病者の治療優先度を決定することをいい、その際に用いるタグ（識別票）をトリアージタグといいます。

訓練の様子は下記URLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_286_1.pdf

【大分運輸支局 総務企画担当】

「海の子育成プロジェクト」(来て・見て・学ぼう海事産業！)
～次世代人材育成の『海事教室』を開催しました～

九州運輸局では、次世代を担う青少年に対し「海・船・港」の大切さ等について体験、学習を通し、青少年に感動とロマンを与え、海事産業に対する興味・関心を持ってもらうことを目的とする「九州海事産業次世代人材育成推進事業」を海事産業関係団体と共に実施しています。

その一環で、大分運輸支局では「海の子育成プロジェクト」として、小学校高学年に対する『海事教室』を平成26年10月22日(水)に開催しました。

当日は、大分県津久見市立千怒(ちぬ)小学校の児童28名、校長先生・引率教諭4名の合計32名の参加がありました。

午前中は、別府国際観光港に寄港中の練習船青雲丸において、「シップスクール」に参加しました。練習船内の見学については、船のレーダーの仕組みや海図の見方等について担当の船員から教わり、船橋、無線室、食堂、機関室等の見学を行いました。

併せて、現役の外航船長から「海と船のお話」があり、世界の海でどのような船が航海し、どのような貨物を運んでいるか等を、分かり易く話していただきました。

続いて午後は、海上貿易の実態を学習してもらうため、港湾物流の結節点である大分港の「大在コンテナターミナル」に場所を移し、船舶へのコンテナ積み込み等を行う「港湾荷役（こうわんにやく）」作業の見学をしました。子供たちは、興味津々の様子で、「20フィート型コンテナ」の中に入り、その内部の大きさ、頑丈な構造に驚いていました。

見学中は真剣、かつ、まじめだった児童たちも、移動のバス内での休憩タイムでは非常に無邪気な反応で、微笑ましい光景が広がりました。そしてバスは小学校に到着して、今回の『海事教室』を無事終えることができました。

本教室の開催にあたっては（独）航海訓練所、（一社）日本船長協会、（一社）日本船主協会、（株）フェリーさんふらわあ、（株）大分国際貿易センター、大分県港運協会、大分県港湾管理者、（公財）九州運輸振興センター、九州地方海運組合連合会にご協力を頂きました。

我々支局職員はスタッフとして、児童の送迎や当日のスケジュール調整、「しおり」の作成等々に参加をし、『海事教室』を共に行ったわけですが、子供たちの素直さ、眼の輝きを見てとても新鮮な気持ちになると同時に、このことをきっかけに海事産業に興味を持ち、理解を深めてもらう事ができたと感じています。

日本は、四面を海に囲まれた海洋国であり貿易立国です。日本の未来のためには次世代を担う子供たちに「海の大切さ」を伝えること、及び優秀な海事人材の確保・育成、船員技術の伝承をすること等が喫緊の課題となっています。

大分運輸支局では、今後も積極的に次世代人材育成推進事業に取り組み、子供たちや先生方に対し「海・船・港」や「海事産業」等に関心、興味を持ってもらうよう、広く啓発活動に努めて参ります。

海事教室の様子は、次のURLからご覧下さい。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_286_2.pdf

【大分運輸支局 運航・船員担当】

3 お知らせ

【募集しています】『海フェスタくまもと』のシンボルマークと標語募集中！！

海フェスタくまもと実行委員会は、平成27年7月18日から8月2日まで熊本市・天草市・玉名市・宇城市・荒尾市・宇土市・上天草市・長洲町で開催される『海フェスタくまもと』の「シンボルマーク」と「標語」を募集しております。

“海フェスタ”は「海の日」本来の意義を再認識し、海に親しむことを目的に海にゆかりのある自治体で毎年開催されており、フェスタ期間中は船の一般公開や体験乗船など、さまざまなイベントがおこなわれます。

なお、今回募集している「シンボルマーク」と「標語」は応募作品の中から各1点

に最優秀賞として賞金10万円が贈られます。応募締切は平成27年1月9日、皆様のご応募よろしくお願ひします。

九州運輸局は『海フェスタくまもと』を応援しています！

応募要領は下記URLからどうぞ

<http://www.umifesta-kumamoto.com/> または

http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=6978

海の日・海フェスタについては下記URLからどうぞ

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000026.html

【海事振興部 旅客課】

【耳寄り情報】NEXCO西日本では、東九州道の開通でアクセスが向上した高速道路を使って、魅力がいっぱいの大分・宮崎へお得に旅をしよう！！として、「乗り放題でお得！東九州自動車道～大分・宮崎ドライブパス～」を期間限定でキャンペーン中です。大分・宮崎へ「ドライブパス」でいかがでしょう。

キャンペーン期間：H26.9.20～12.21

「ドライブパス」の利用方法など詳細は下記HPから

<http://www.michitabi.com/roundtour/kyushu1409/>

【参加申込み募集】省エネ促進フォーラム2014 in 福岡

九州運輸局では、地球温暖化問題の理解を深め、人と地球にやさしい運輸を目指すために、種々の取り組み情報を共有し、今後の省エネルギー対策の参考としていただくことを目的として、「省エネ促進フォーラム」を開催します。

日時：平成26年12月11日（木）13:30～16:30

会場：福岡国際会議場（福岡市博多区石城町2-1）

フォーラムでは福岡大学の浅野教授による基調講演、省エネ対策に積極的に取り組んでいる事業者による、特に今回は企業のCSR意識の高まりに加えて、トラック輸送業界のドライバー不足、燃料費高騰対策として期待されるモーダルシフトの取組事例や、開催地である福岡県の低炭素・環境施策を紹介します。

当日は「九州運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰」も執り行われます。どなたでも参加できますので、多数のお申し込みをお待ちしております。

お申し込みは、下記URLより所定の申込用紙をダウンロードして事務局あてファックスお願い致します。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/2014-1105-kankyo.htm>

【交通環境部 環境課】

4 イベント情報

深耶馬溪ひさしもみじライトアップ

日時：開催中～11月30日(日)

場所：大分県中津市耶馬溪町大字深耶馬

概要：耶馬溪地域の紅葉は例年であれば10月下旬～11月下旬です。紅葉のメッカ、一目八景は、去年は11月中旬にピークを迎えました。

曾木の滝公園もみじ祭り

日時：平成26年11月22日(土)～11月23日(日)

場所：鹿児島県伊佐市大口宮人628-41

概要：様々なショーや特産品の販売など会場周辺のもみじを眺めながら楽しい一日が過ごせます。まつりの期間中は曾木の滝がライトアップされます。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////
コンビニや本屋さんに行くと、紅葉特集の本が目につくようになりました。今週から紅葉本番のようです。太陽を浴びた紅葉はより一層赤みを増し、カメラを構えた人達と一緒にいろんな角度からその美しさを持ち帰ろうとつい必死になってしまいます。

しかし冷え込むからこそ紅葉が進むもの。風邪をひかないよう防寒対策をして、紅葉に見とれて事故に遭わないよう、今だけの美しさを楽しみに行かれてはいかがでしょうか。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192